

飛鳥Ⅱ 世界の旅46日間を経験して

この度、郵船クルーズ株式会社が運営する「飛鳥Ⅱ」という豪華客船に乗船しました。弊社が飛鳥クルーズの講師キヤスティングの窓口を務めて数年が経ち、遂に担当の社員から私に乗船のオフアーをもらいました。数日考えた結果、アラスカ・ハワイ・グランドクルーズに乗船し、人生で初めて日本を46日間離れ、船の上で過ごす決意をしました。今回は、その胸の内を語りたいと思います。

46

日間乗るよ。講師オフアーをくれた社員にそう伝えたとこ、数秒凍りつきました。まさか会社のトップが46日間乗ると思わなかったのでしょうか。講師は寄港地ごとの乗船、下船も可能であり、数日でも構わないのですが、私はあえて全46日間の乗船を選びました。その理由は、私の中の「挑戦」です。

会社経営22年。人材育成に携わってきました。現在は、グループ会社を含め6社となり、それぞれの責任者が組織を支えてくれています。もし私が46日間会社を離れただけで経営が揺らぐのであれば、それまで積み上げてきた教育や組織づくりには価値がなかったということになります。幹部やマネージャー、社員たちを信じ、組織の力を試す意味でも、この挑戦を決意しました。講師として与えられた役割は、講演、茶道教室、コミュニケーションマジック教室の3つ。飛鳥クルーズ35年の歴史の中でも、一人でこれだけの役割を担う講師は珍しいと言われましたが、積み重ねてきた経験があれば応えられるという自信がありました。

と

はい、ものの、実際に講演準備を進める中で、大きな壁に気づきました。これまでの講演は、学生や向上心の高い社会人など、ある程度共通した目的を持っている人たちが対象でした。しかし、世界クルーズのお客様は年齢も職業もさまざまです。ご夫婦で参加され、一方は興味があっても、もう一方は付き添いという場合もあります。そして、学びのためではなく、バカンスを楽しむために乗船されているのです。約150名が会場に集まり、さらに、船内テレビでも講演映像が流れます。この状況で何を伝えれば喜んでいただけるのか本当に悩みました。

最終的には、普段から皆さんにお話している内容を丁寧に伝えることを選びました。言葉遣いや例え話に細心の注意を払いながら臨んだ講演は、まずまずの手応えでした。そして、マジックについて話をした講演後に始まったマジック教室の予約が、わずか15分ほどで満席になったと聞いたときは、本当に嬉しかったことを覚えています。茶道教室では「船の上でお抹茶がいただ

けるなんて嬉しい」という声をいただき、マジック教室も当初10回の予定でしたが、希望者が予想以上に多く、合計18回開催することになりました。振り返ると、茶道もマジックも周囲から勧められて始めたものです。しかし、長く続けてきたからこそ、飛鳥Ⅱという特別な舞台でも自信を持って講師を務めることができたのだと思います。私にとって世界クルーズは夢や目標だったわけではありません。それでも日々を一生懸命に積み重ねてきたことで、この貴重な機会をいただくことに繋がったのです。

また、私が不在の46日間、会社は社員一人ひとりが責任を持って行動し、組織を支えてくれました。改めて、素晴らしい社員に恵まれていることに感謝しています。飛鳥Ⅱ船内では、田口船長をはじめ、清掃、料理、エンターテインメントなど、あらゆる場面で一流のサービスに触れました。超一流のお客様に最高のサービスを提供する姿勢から学ぶこともたくさんありました。皆さんもぜひ機会があれば、飛鳥クルーズを体験してみてください。



(株)キャリアコンサルティング 代表取締役社長 室舘 勲
MURODATE Isao

2003年に株式会社キャリアコンサルティングを設立。全国で若者の育成に取り組む。千葉県教頭会第1ブロック研究大会、むつろータリークラブ創立65周年式典など講演実績多数。全国社内木鶏経営者会 副会長。ミス・ワールド・ジャパンの講師・審査員。著書に「夢を見て 夢を叶えて 夢になる」(致知出版社)、「まずは上司を勝たせなさい」(講談社)、「『応援される人』にならなさい」(ワック)がある。



ブログ



Instagram